平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	38	事業No.	185		
会計	一般会計				
事務事業名	土地改良事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	土木課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○		飯田市農業振興地域整備計画
	法令・例規等			市営土地改良事業等の経費の賦課徴収に関する条例
				飯田市農地保全型簡易基盤整備事業補助金交付要綱

事業目的		
	対象	農業従事者、農村居住者
	意図	農作業の効率化と農地を保全する、農業施設の改修及び補修

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	高度成長期に整備した農業用施設の老朽化が進み、農作業に支障をきたすとともに、農住混在化が進んだことにより防災面での住民要望も多くなっています。 施設の改修及び補修により社会基盤の強化と農地の持続的な活用につなげ、国土保全のための役割を果たしていきます。

30年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	地域から多く要望が寄せられている、老朽化が進んだ農道・用排水施設を順次補修や更新整備を進めます。	非補助土地改良事業	50,000
		市単土地改良事業	107,633
		土地改良施設維持管理適正化事業	535
		国土保全特別対策事業	26,700
		農地保全型簡易基盤整備事業	1,400
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
	用排水路整備	箇所	25	26		
	農道整備	箇所	5	1		
	施設補修・清掃	箇所	170	170		
	施設補修用資材支給	箇所	100	100		
	農地の基盤整備補助	箇所	9	10		

30年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	186,268	(地)国土保全特別対策(充当率90%) (そ)非補助土地改良事業分担金
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	24,000	
	その他	50,000	
	一般財源	112,268	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	1	7	17	1	50,000 0	非補助土地改良事業費
2	1	6	1	7	18	1	107,633 0	市単土地改良事業費
3	1	6	1	7	21	1	535 0	土地改良施設維持管理適正化事業費
4	1	6	1	7	26	1	26,700 0	国土保全特別対策事業費
5	1	6	1	7	31	1	1,400 0	農地保全型簡易基盤整備事業費
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 185　事業名 土地改良事業　　土木課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－		建設工事に係る資材の再資源化に等に関する法律(建設リサイクル法)	対象建設工事の通知		
公共工事の実施	○			×	×	×	×	×	×					
環境配慮設計の実施	○			○	○	○	○	○	○	○				
環境配慮工事の実施	○			○	○	○	○	○	○	○				
工事現場での事故発生			○	×	×	×	×	×	×					
工事現場での事故防止			○	○	○	○	○	○	○					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
現場状況やコスト面で、環境に配慮した設計が実施困難な場合がある。	公共工事の環境配慮設計及び実施 工事竣工時 環境配慮率85％を目標に行う	年間を通じて環境に配慮した設計を行い、工事を実施する。				

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	38	事業No.	240		
会計	一般会計				
事務事業名	社会基盤維持管理事業	事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	土木課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○		飯田市舗装長寿命化修繕計画
				橋梁長寿命化修繕計画
	法令・例規等			建設リサイクル法

事業目的		
	対象	飯田市が管理する道路、河川、水路
	意図	道路、河川、水路の維持管理

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	高度成長期に整備された多くの道路・河川・水路等の施設構造物において、老朽化による経年劣化及び損傷箇所が年々増加しています。緊急性の高い箇所から修繕・補修を行っていますが、すべての対応ができていないため施設の劣化及び損傷が進行しています。 また、舗装補修についても、舗装の供用性能を一定水準に保つためには、ある程度まとまった規模の補修が必要です。

30年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	老朽化などにより傷んだ道路・橋梁・河川・排水路を早期に発見・補修すると共に、付属施設の維持管理を計画的に行っていくことで、効率的、経済的に社会基盤の強化を図ります。 また、沿道の支障木や街路樹の管理、冬期の除融雪などを適期に行うことで、安全な交通の確保を図ります。	道路補修事業	214,041
		道路舗装補修事業	200,960
		道路維持管理事業	26,821
		除雪費	99,731
		橋りょう補修事業	6,622
		河川維持補修事業	9,324
		りんご並木管理費	5,329
		街路管理費	22,369
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
	社会基盤維持補修工事	箇所	350	350		
	施設補修用資材支給箇所	箇所	150	150		
	舗装補修工事	箇所	200	200		
	社会基盤維持管理業務委託	箇所	70	70		

30年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	585,197	（国）社会資本整備総合交付金（除雪）（２／３） （地）過疎対策（充当率100%）
	国庫支出金	16,000	
	県支出金	0	
	地方債	9,100	
	その他	0	
	一般財源	560,097	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	8	2	2	10	1	214,041 0	道路補修事業費
2	1	8	2	2	11	1	200,960 0	道路舗装補修事業費
3	1	8	2	2	12	1	26,821 0	道路維持管理事業費
4	1	8	2	2	12	2	99,731 0	除雪費
5	1	8	2	4	10	1	6,622 0	橋りょう補修事業費
6	1	8	3	2	10	1	9,324 0	河川維持補修事業費
7	1	8	4	3	10	2 3	27,698 0	りんご並木管理費 街路管理費

(環境ISO管理)

事業No. 240　事業名 社会基盤維持管理事業　　土木課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			―	×	×	―	×	―		建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	対象建設工事の通知		
環境配慮設計の実施	○			○	○	○	○	○	○	○				
環境配慮工事の実施	○			○	○	○	○	○	○	○				
現場での事故発生			○	×	×	×	×	×	×					
現場での事故防止			○	○	○	○	○	○	○					
施設の老朽化	○			×	×	×	―	―	×					
補修工事の実施	○			○	○	○	×	―	○					
融雪剤の使用	○			×	×	×	×	―	×					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
	公共工事の環境配慮設計及び実施 工事竣工時 環境配慮率85％を目標に行う	年間を通じて環境に配慮した設計を行い、工事を実施する。				

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	38	事業No.	241		
会計	一般会計				
事務事業名	防災・安全対策事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	土木課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	11	災害に備え、社会基盤を強化し、防災意識を高める
	分野別計画		飯田市地域防災計画	
	法令・例規等		河川法	
			道路法	

事業目的		
	対象	市道、河川、排水路
	意図	道路、河川、排水路の整備により社会基盤を強化する

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	災害時に市道は、緊急輸送路や避難路として利用されますが、未整備区間が多く存在し、計画的な整備が必要です。橋りょうなどの道路構造物についても、定期点検を進め、計画的に長寿命化を図るとともに、耐震整備も必要です。道路や河川の危険箇所についても、点検を行い、危険度の高い箇所から順次整備が必要です。また、近年増加している集中豪雨などによる被害に対しても、順次改修要望に対応していく必要があります。

30年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
防災・安全対策が必要な道路整備、通学路安全点検に基づく危険箇所の整備を進めます。 道路施設の定期点検を進めるとともに、橋りょうの長寿命化及び耐震整備を進めます。 道路、河川の危険箇所の整備や排水路の整備を進めます。	防災・安全交付金事業（道路整備）	190,000
	防災・安全交付金事業（通学路安全対策）	49,000
	橋りょう長寿命化修繕事業	219,396
	防災対策避難路整備事業	96,000
	道路自然災害防止事業	45,000
	橋りょう耐震整備事業	20,000
	河川自然災害防止事業	40,000
	河川改修事業（単独）	4,300
	排水路整備事業	21,818
	その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
市道整備工事	箇所	17	17		
橋りょう整備工事	箇所	6	6		
河川整備工事	箇所	13	13		
排水路整備工事	箇所	17	18		

30年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費　計	685,514	（国）防災・安全社会資本整備総合交付金（5.5／10）　250,030千円 （地）公共事業等債（充当率90%）　157,900千円 （地）緊急防災・減災（充当率100%）　116,000千円 （地）自然災害防止（充当率100%）　84,700千円
国庫支出金	250,030	
県支出金	0	
地方債	358,600	
その他	0	
一般財源	76,884	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	8	2	3	11	6	239,000	防災・安全交付金事業費（道路整備）　（天龍峡大橋は国県リ課のため除く）
						11	0	防災・安全交付金事業費（通学路安全対策）
2	1	8	2	4	10	2	219,396	橋りょう長寿命化修繕事業費
							0	
3	1	8	2	3	12	4	96,000	防災対策避難路整備事業費
							0	
4	1	8	2	3	12	9	45,000	道路自然災害防止事業費
							0	
5	1	8	2	5	10	2	20,000	橋りょう耐震整備事業費
							0	
6	1	8	3	3	12	2	40,000	河川自然災害防止事業費
							0	
7	1	8	3	3	12	1	26,118	河川改修事業費（単独）
						3	0	排水路整備事業費

(環境ISO管理)

事業No. 241　事業名 防災・安全対策事業　　土木課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－		建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	対象建設工事の通知		
公共工事の実施	○			×	×	×	×	×	×					
環境配慮設計の実施	○			○	○	○	○	○	○	○				
環境配慮工事の実施	○			○	○	○	○	○	○	○				
現場での事故発生			○	×	×	×	×	×	×					
現場での事故防止			○	○	○	○	○	○	○					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
	公共工事の環境配慮設計及び実施 工事竣工時 環境配慮率85％を目標に行う	年間を通じて環境に配慮した設計を行い、工事を実施する。				

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	38	事業No.	242		
事務事業名	道路ネットワーク整備事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	土木課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	12	リニア時代を支える都市基盤を整備する
	分野別計画		地域再生計画	
			中心市街地活性化基本計画	
			辺地対策総合整備計画	
	法令・例規等		道路法	

事業目的		
	対象	幹線及び一般市道
	意図	幹線及び一般市道の整備により、社会基盤を強化

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	飯田市の道路ネットワークは、国県道を骨格として、それらを結ぶ市道で構成され、特に市道は市民生活に密着した生活道路として利用されていますが、幅員の狭い箇所や線形や勾配の危険な箇所が存在し、通行車両や歩行者の安全確保について多くの改良要望が寄せられています。また、リニア時代に向けて、リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の整備効果を広く市内で享受するため、計画的な整備を行うことにより、安全で効率的な道路ネットワークを構築します。

30年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
拡幅等が必要な路線は、地元との調整を図りながら路線の優先順位付けを行い、集中的に事業を執行することで早期に効果が発現できるよう、計画的な道路整備を進めます。	道整備交付金事業	141,000
	社会資本整備総合交付金事業（市街地整備）	54,700
	社会資本整備総合交付金事業（道路整備）	240,000
	辺地対策道路改良事業	30,000
	市道改良事業	99,038
	生活関連道路整備事業	21,700
	その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
社会資本整備総合交付金改良工事	箇所	3	3		
中心市街地改良工事	箇所	4	2		
道整備交付金改良工事	箇所	4	3		
辺地対策道路改良工事	箇所	1	1		
単独市道改良工事	箇所	37	26		

30年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費　計	586,438	（国）道整備交付金（１／２）　70,500千円
国庫支出金	227,115	（国）社会資本整備総合交付金（市街地整備）（4.5/10）　24,615千円
県支出金	0	（国）社会資本整備総合交付金（道路整備）（5.5/10）　132,000千円
地方債	218,400	（地）過疎対策（充当率100％）　7,500千円
その他	0	（地）公共事業等（充当率90％）　180,900千円
一般財源	140,923	（地）辺地対策（充当率100%）30,000千円

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	8	2	3	11	7	141,000 / 0	道整備交付金事業費
2	1	8	2	3	11	8	54,700 / 0	社会資本整備総合交付金事業費（市街地整備）
3	1	8	2	3	11	12	240,000 / 0	社会資本整備総合交付金事業費（道路整備）
4	1	8	2	3	12	5	30,000 / 0	辺地対策道路改良事業費
5	1	8	2	3	12	6	99,038 / 0	市道改良事業費
6	1	8	2	3	12	12	21,700 / 0	生活関連道路整備事業費
7								

(環境ISO管理)

事業No. 242　事業名 道路ネットワーク整備事業　　土木課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－		建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)	対象建設工事の通知		
公共工事の実施	○			×	×	×	×	×	×					
環境配慮設計の実施	○			○	○	○	○	○	○	○				
環境配慮工事の実施	○			○	○	○	○	○	○	○				
工事現場での事故発生			○	×	×	×	×	×	×					
工事現場での事故防止			○	○	○	○	○	○	○					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
	公共工事の環境配慮設計及び実施 工事竣工時 環境配慮率85％を目標に行う	年間を通じて環境に配慮した設計を行い、工事を実施する。				

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	38	事業No.	252		
事務事業名	公園整備事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	土木課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	11	災害に備え、社会基盤を強化し、防災意識を高める
	分野別計画		中心市街地活性化基本計画	
			都市公園長寿命化計画	
	法令・例規等		都市公園法	
			飯田市都市公園条例	
			飯田市手作り広場設置事業補助金交付要綱	

事業目的		
	対象	市民、公園
	意図	誰もが安全・安心で快適に利用できる公園とするための施設改修及び修繕。中心市街地の活性化と賑わい創出につながる公園の再整備と施設の改修。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	飯田市の公園は開設年度が古い公園が多く、施設の老朽化が進んでいます。そのため、施設の更新・修繕が必要な箇所が増えていますが、対応が追いつかない状況です。定期点検や日常点検を実施し、施設の異常箇所の早期発見、迅速な修繕の対応が必要です。 また、多くの公園が災害時の避難地として指定されており、安全に避難できる様、施設の更新・修繕が必要です。

30年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	・中央公園の市営駐車場の耐震補強工事を実施します。 ・公園施設長寿命化計画に基づく、施設の更新及び修繕を実施します。 ・定期点検、日常点検による施設の異常箇所の改修及び修繕を実施します。 ・地元主体の手作り広場設置に要する補助金の交付を行います。	社会資本整備総合交付金事業（市街地整備）	20,000
		都市公園長寿命化対策事業	30,000
		公園改修事業費	11,943
		手づくり広場等設置事業費	700
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
	長寿命化計画に基づく遊具の更新	公園	2	7		
	公園施設の改修及び補修箇所数	箇所	10	15		
	手づくり広場設置箇所数	箇所	1	1		

30年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	62,643	（国）防災・安全交付金（都市公園長寿命化対策事業）（１／２）　15,000千円 （国）社会資本整備総合交付金（市街地整備）（4.5／10）　9,000.千円 （地）公共事業等債（充当率90%）
	国庫支出金	24,000	
	県支出金	0	
	地方債	23,400	
	その他	0	
	一般財源	15,243	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	8	4	5	11	2	20,000 0	社会資本整備総合交付金事業費（市街地整備）
2	1	8	4	5	11	4	30,000 0	都市公園長寿命化対策事業費
3	1	8	4	5	12	8	11,943 0	公園改修事業費
4	1	8	4	5	12	7	700 0	手づくり広場等設置事業費
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 252　事業名 公園整備事業　　土木課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－		建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)	対象建設工事の通知		
公共工事の実施	○			×	×	×	×	×	×					
環境配慮設計の実施	○			○	○	○	○	○	○	○				
環境配慮工事の実施	○			○	○	○	○	○	○	○				
工事現場での事故発生			○	×	×	×	×	×	×					
工事現場での事故防止			○	○	○	○	○	○	○					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
	公共工事の環境配慮設計及び実施 工事竣工時 環境配慮率85％を目標に行う	年間を通じて環境に配慮した設計を行い、工事を実施する。				

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	38	事業No.	253		
会計	一般会計				
事務事業名	公園維持管理事業	事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	土木課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等		都市公園法	
		○	飯田市都市公園条例	

事業目的		
	対象	市民、公園
	意図	公園利用者が安全・安心して利用できる環境整備

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	樹木の高木化に伴い、剪定、病害虫駆除、落ち葉清掃等の維持管理が大変になってきています。地元愛護会と連携して維持管理を行っていますが、高齢化に伴い愛護会の活動も縮小してきている現状があり、今後、公園内の樹木のあり方について検討していく必要があります。

30年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	・都市公園、その他公園における樹木の整枝・剪定・病害虫駆除及び遊具、トイレ等、公園施設の修繕・補修工事を実施します。	都市公園等維持管理費	63,457
		（県）風越公園維持管理費	3,676
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
	施設の補修箇所数	箇所	25	20		

30年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	67,133	（県）風越公園管理委託費 （そ）太陽光発電収入（都市公園）
	国庫支出金	0	
	県支出金	3,676	
	地方債	0	
	その他	120	
	一般財源	63,337	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	8	4	5	13	1	63,457 / 0	都市公園等維持管理費
2	1	8	4	5	13	2	3,676 / 0	（県）風越公園維持管理費
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 253　事業名 公園維持管理事業　　土木課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					
電気・水の消費	○			×	－	×	－	×	○					
地域活動	○			○	－	－	○	－	○					
施設の破損			○	×	×	×	×	×	×					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	38	事業No.	254		
会計	一般会計				
事務事業名	飯田子どもの森管理運営事業	事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	土木課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等		飯田市公の施設の指定管理者の指定の手続き等に関する条例	
			都市公園法・飯田市都市公園条例	
		○	平成記念飯田子どもの森公園条例	

事業目的		
	対象	市民、公園
	意図	様々な体験活動の場を児童に提供し、健やかな成長に資するとともに、安全・安心して公園を利用できるための管理運営。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	体験活動事業の充実により、入園者数は増加していますが、木材を使用した施設が多いことから老朽化の進行が進んでいます。公園利用者が安全・安心して施設を利用できるよう、計画的な改修・修繕を図っていく必要があります。

30年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	・遊具の点検、園地の清掃、草刈り、除草、植栽の整備を行います。 ・各種体験活動事業を実施します。 ・老朽化した施設の改修及び修繕を実施します。	飯田子どもの森公園維持管理費	28,009
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
	入園者数	人	100,000	100,000		
	事業実施数（イベント等）	回	600	600		

30年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	28,009	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	28,009	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	8	4	5	14	1	28,009 / 0	飯田子どもの森公園維持管理費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 254　事業名 飯田子どもの森管理運営事業　　土木課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			×	×	×	×	―	―		廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の適正処置		
動物の飼育	○			×	×	―	○	―	○					
自然環境教育	○			―	―	―	―	―	―		動物をみだりに殺し、傷つけ、又は苦しめることのないようにするのみでなく、人と動物の共生に配慮しつつ、その習性を考慮して適正に取り扱うにしなければならない。			
電気・水の消費	○			×	―	×	―	×	○					
建物の火災・倒壊・停電			○	×	×	―	―	―	×					
汚物の流出・石油類の流出			○	×	―	―	×	×	×					
展示動物の保護			○	―	―	―	○	―	―					
感染症の発生			○	×	―	―	×	―	×					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	38	事業No.	255		
会計	一般会計				
事務事業名	飯田動物園管理運営事業	事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	土木課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等		飯田市公の施設の指定管理者の指定の手続き等に関する条例	
			都市公園法・飯田市都市公園条例	
		○	飯田市立動物園条例	

事業目的		
	対象	市民・来園者
	意図	動物園を憩いの場として、安全・安心して利用してもらい、入園者の増加を中心市街地の活性化につなげ、賑わいを回復する。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	老朽化している施設が目立ち、来場者の観覧に支障を来しています。各種イベントを中心市街地の活性化に寄与できるよう、地元商店街等との連携を密にし、また、りんご並木や中央公園への回遊性を高めるようＰＲしていきます。

30年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	・施設の点検、清掃を実施し、入園者が安全・安心して観覧ができるよう環境整備を行います。 ・各種、動物の生態や習性などの教育普及事業を実施します。	動物園管理費	46,434
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
	来園者数	人	140,000	140,000		

30年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	46,434	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	46,434	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	8	4	6	10	1	46,434 / 0	動物園管理費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 255　事業名 飯田動物園管理運営事業　　土木課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			×	×	×	×	―	―		廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の適正処置		
動物の飼育	○			×	×	―	○	―	○					
体験教育	○			○	○	○	○	○	○		動物をみだりに殺し、傷つけ、又は苦しめることのないようにするのみでなく、人と動物の共生に配慮しつつ、その習性を考慮して適正に取り扱うようにしなければならない。			
電気・水の消費	○			×	―	×	―	×	○					
建物の火災・倒壊・停電			○	×	×	―	―	―	×					
汚物等の流出・石油類の流出			○	×	―	―	×	×	×					
展示動物の保護			○	―	―	―	○	―	―					
感染症の発生			○	×	―	―	×	―	×					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	38	事業No.	348		
会計	一般会計				
事務事業名	災害復旧事業	事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	土木課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○		公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法
				農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律

事業目的		
	対象	飯田市が管理する道路、河川、水路、公園、農業施設及び個人農地
	意図	道路、河川、水路、公園、農業施設、農地の災害復旧

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	多くの道路、河川、水路、公園、農業施設等では老朽化による経年劣化及び損傷箇所が急激に増加しています。災害を未然に防ぐため緊急性の高い箇所から改良・改修・修繕・補修等を行っていますが、すべての対応ができていないため、異常な天然現象における災害リスクの解消ができていない状況です。

30年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	異常な天然現象（時間雨量20㎜を超える降雨量若しくは24時間雨量で80㎜を超える降雨量等）により生じた災害の発生時は、速やかに現地調査、被災状況の把握を行い、早期に復旧工事を行います。	農業施設等単独災害復旧事業	1,000
		土木施設単独災害復旧事業	2,000
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
	災害復旧工事	箇所	－	－		

30年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	3,000	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	3,000	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	11	1	10	10	1	1,000 / 0	農業施設等単独災害復旧事業費
2	1	11	2	10	10	1	2,000 / 0	土木施設単独災害復旧事業費
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 348　事業名 災害復旧事業　　土木課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－		建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	対象工事の通知		
公共工事の実施	○			×	×	×	×	×	×					
環境配慮設計の実施	○			○	○	○	○	○	○	○				
環境配慮工事の実施	○			○	○	○	○	○	○	○				
現場での事故発生			○	×	×	×	×	×	×					
現場での事故防止			○	○	○	○	○	○	○					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
	公共工事の環境配慮設計及び実施 工事竣工時 環境配慮率85％を目標に行う	年間を通じて環境に配慮した設計を行い、工事を実施する。				